

平成 19 年度学術ポータル担当者研修レポート

所属機関名 小樽商科大学

受講者番号 2-1 首藤佳子 (整理係長)

受講者番号 2-2 中筋知恵 (参考係員)

1. 発表資料の状況設定

各学科会議の冒頭に、10分ほどの時間を頂いて、小樽商科大学学術成果コレクション (Barrel) の概要と目的を説明し、コレクションへの登録を呼びかける。

配布資料として研究者DBから作成した各教員の業績リストを個々に配布し、説明の後、登録したいものを選択してもらい回収した。

2. 発表内容抄録

小樽商科大学学術コレクション (Barrel) とは、本学で生産された学術成果 (研究論文、本学紀要、研究報告書、学会発表資料、雑誌・新聞寄稿記事、コラムなど) を大切に保存・蓄積するとともに、インターネットで無料公開するものである。

その目的は、小樽商大研究者の著作の可視性を高め、より多くの読者に届けることにより、論文の引用数があがること、また大学にとっては情報公開の一環ともなり、社会への説明責任を果たすことになる。国内外でこのようなコレクションの構築が急速に進んでいる。是非 Barrel に掲載したいご著作を図書館にお持ち下さい。

3. プレゼン資料の改訂

研修時にプレゼン資料への助言は特になかったが、試験公開をしたのでコレクションの実例を他大学の画面から Barrel の画面に変更したほか若干の改訂をした。

4. プレゼンの概要

日時：平成 19 年 10 月 10 日午前 10 時 30 分

場所：言語センター学科会議 (言語センター長室)

発表対象：言語センター教授・准教授

参加人数：研究者 19 名

担当者：鈴木、中筋、南

日時：平成 19 年 10 月 10 日午後 2 時 35 分

場所：一般教育等学科会議 (第 2 会議室)

発表対象：一般教育等教授・准教授

参加人数：研究者 15 名

担当者：鈴木、中筋、南

日時：平成 19 年 10 月 16 日午前 10 時 30 分

場所：社会情報学科会議（1 号館 B 会議室）

発表対象：社会情報学科教授・准教授

参加人数：研究者 16 名

担当者：鈴木、中筋、首藤、南

日時：平成 19 年 10 月 17 日午後 1 時 20 分

場所：商学科学科会議（1 号館 B 会議室）

発表対象：商学科教授・准教授

参加人数：研究者 15 名

担当者：鈴木、中筋、首藤

日時：平成 19 年 10 月 31 日午前 11 時 30 分

場所：アントレプレナーシップ専攻会議（第 1 会議室）

発表対象：アントレプレナーシップ専攻教授・准教授

参加人数：研究者 16 名

担当者：鈴木、中筋、首藤、南

5. プレゼンでの反響及び Q&A

プレゼンについては概ね好評で、コレクションに対しての反対意見は出なかった。配布した業績リストについてもすぐその場で○を付けて返却してくれたり、後で図書館にリストとファイルや別刷を持って来てくれるなどコレクション登録に積極的に協力してくれる教員もいて頼もしく感じられた。

以下プレゼンにおける Q&A である。

Q. 単行本に掲載されている論文でも載せることができるか？

A. はい。著作権を保持している出版社・学会に聞いて、「よい」という回答なら載せられます。図書館から尋ねますのでお知らせ下さい。ただ市販されている本は難しいかもしれません。

Q. 新聞は載せられるか？

A. 新聞社の許諾があれば OK です。

Q. 単著は、どんなに厚いものでも掲載するのか？

A. はい。章ごとにファイルを分けるなどの方法があるので相談させていただきたい。

Q. 共著の場合、共著者に許諾を得る必要はあるか？

A. 著作権が出版社にある場合は、著作権上は共著者に許諾を得なくてもいいが、やはり先生から共著者の方に一言ことわっていただけたらと思う。

Q. 退官した場合はどうなるのか？

A. ずっと保存・公開していきます。

- Q. 名誉教授の論文なども載せていくのか？
- A. ご希望があれば対応したい。しかし今のところ、まずは現教員の著作を対象としており、さかのぼって、昔いた先生の著作をすべて載せるということは考えていない。
- Q. PDFはOCR付きか？時間がかかるがそこまでやってもらえるのととてもうれしい。それとセキュリティはかかっているのか？
- A. OCRをかけることは考えていなかったがやれるかどうかを含め検討したい。セキュリティは今、「変更不可」、「印刷可」、「コピーペースト可」のセキュリティをかけている。
- Q. 書き下ろしなど未発表のものも掲載できるのか？
- A. 現時点では、どこかで発表されたものを掲載したいと思っているが、ご要望があれば今後検討させていただきたい。
- Q. 他の大学に勤務していた時代のものも載せるのか？
- A. はい。先生が載せたいものを載せたい。商大の研究者の成果として載せます。

6. 今後の予定

学科会議での説明は7学科のうち5学科については既に終了し、残る2学科についても日程を調整し、実施する予定である。学科会議での説明を終了後は、教員からの要望があれば随時伺う予定である。また説明会の折に配布した各教員の業績一覧の未回収分について督促し、順次著作権調査をして、許諾の得られたものについてはBarrelに登録し、その他学内で出版されている研究報告や各種出版物についても許諾を得て、コレクションを拡大していく予定である。